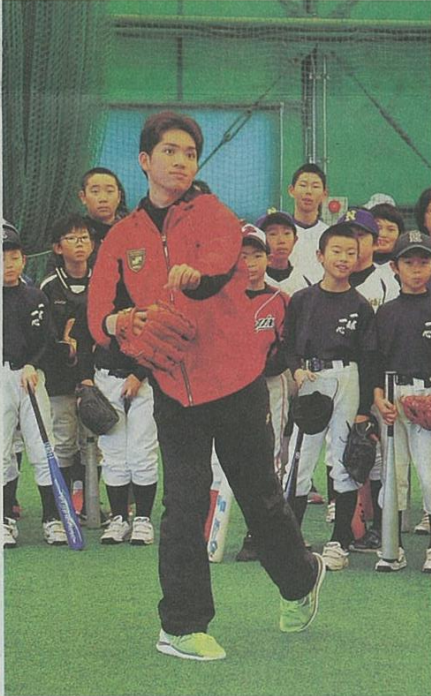


# 青山(楽天)ら八学大出身選手 八戸で児童に指導



投球フォームを指導する青山浩二投手(左)  
＝9日、八戸学院室内練習場

八戸市の学校法人光星学院は9日、同市美保野の八戸学院室内練習場で「八戸学院出身プロ野球選手とふれあふ会」を開催した。八戸大(当時)出身の青山浩二投手(楽天)、田代将太郎外野手(ヤクルト)、10月のプロ野球新人選手選択会議(ドラフト会議)で巨人の1位指名を受けた高橋優貴投手(八戸学院大)の3人が参加し、市内の小学4、6年生約80人を指導した。子どもたちは全員で準備運動をした後、守備と打撃の二つのグループに分かれて練習。守備は青山と高橋、打撃は田代が指導した。投



子どもたちの前で投球練習を披露する高橋優貴投手

手は青山から直接指導を受けた。青山は「フォームなどを改善。打撃練習のチームは、Tシャツや各球団のカレンダーなどが当たる抽選会

組んだ。練習後、選手のサイン入りTシャツや各球団のカレンダーなどが当たる抽選会

## 巨人入団の高橋投手 「活躍する姿を見せたい」

プロ野球の巨人入団が決まっていた高橋優貴投手(八戸学院大)が9日、八戸市で行われた「八戸学院出身プロ野球選手とふれあふ会」に参加。小学生たちと交流し、「子どもたちに夢を与えるのもプロ選手の仕事。1軍のマウンドで活躍している姿を見せたい」と決意を新たにしていた。

10月のプロ野球新人選手選択会議(ドラフト会議)で1位指名を受け、11月に球団と契約を交わした。同日に東京ドームで行われた「ジャイアンツ・ファンフェスタ2018」で、約4万人のファンにお披露目された高橋。「こんなに大勢の人の前でプレーするのだと思うと、気が引き締まった」という。

9日には、守備などを指導した高橋は「こんなに寒い中、全力で野球に取り組んでいて、こちらが力ももらった」と感想を述べた。同日によると、高橋は今月いっぱい野球部の寮を退寮。来年1月から巨人の練習に合流するという。

(里村静)